

また、この豊富な竹林から取れる竹の子の王様「大名竹の子」は、村の特産品に加工され、その味の良さから来村者のお土産に喜ばれています。



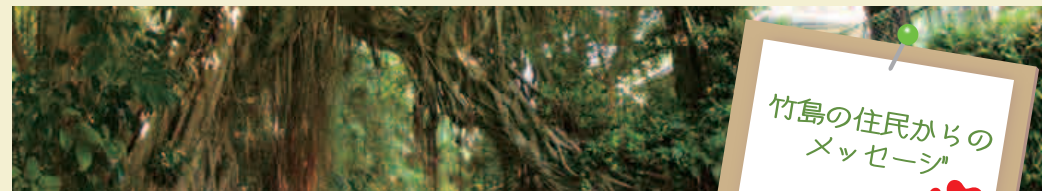
竹島の最西端に位置する景勝の地。昭和硫黄島の奥には活火山硫黄岳、さらに晴天の時は屋久島まで見渡すことができます。

島の南側に位置し、しけの時の漁船の避難港として利用されていました。切り立った断崖の景観は自然の造形美。夏になるとキビナゴがたくさん湾内に入ってきます。

緩やかで広々とした牧場。島の人口とほぼ同数の約80頭の牛が放し飼いによりのびのびと飼われています。

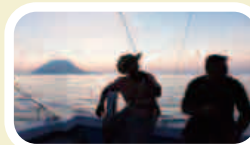
A photograph showing two bamboo shoots emerging from a lush green mossy forest floor. The shoots are dark green and pointed. The surrounding ground is covered in moss and fallen brown leaves. In the top left corner, there is a red circular stamp with the white Japanese text '大名竹' (Daimyo-take).

昔、東風泊辺りにあった溜め池に竜が現れ、その時の神のお告げにより建立されたと伝えられています。



竹島の住民からの
メッセージ

近いようで遠いところだということです。本土からの距離は近いけれども、フェリーで渡る必要があるので実際の感覚では遠く、離島ならではの雰囲気が満喫できます。



自分が年をとっても、友達と一緒に釣りに行ったりしながら
ゆったりと楽しく暮らせるよう
な島にしたいです。

畜産農家・漁業



海、竹、牛など自然が豊かで、のどかな島です。島の人たちは優しく、あったかくて、みんないい人ですが、自分たちのことは自分たちでやるという意識が根付いていて、しっかりしています。そんな意味で、地に足をつけた生活ができる島だと思います。



自分にとってふるさと島だから、ほっこりする島で有り続けて欲しいです。みんながスポーツを楽しむことで、島にもっと活気が出るといいのではないかと思います。

竹島体育館管理人

